

## 朝鮮民主主義人民共和国 —地球上の社会主義の前哨基地

ベラルーシ・チュチェ思想研究協会会長  
ワシリー・ポリソヴィッチ・ゼリコフ

1948年9月9日、北東アジアの朝鮮半島ではこの地域で最初になる社会主義国である朝鮮民主主義人民共和国の創建が宣布されました。

朝鮮人民はこの出来事のために苦難の40余年間、半島の原住民である朝鮮人民を対象に本質上奴隷所有者制度を樹立し、略奪と抑圧、甚だしくは朝鮮語の使用を禁止させて人民の精神から固有の朝鮮文化を根こそぎにしようと策動した日本の圧制者に反対するたたかいをくり広げました。

朝鮮人民の社会主義への道は10代の金日成主席が祖国解放の遠大な構想を練っていた時から始まりました。

主席は朝鮮が日本帝国主義の植民地支配下で呻吟していた民族悲劇の環境の中で成長しました。主席は幼年の時代から並外れた愛国精神と侵略者にたいする抵抗心を抱いていました。主席は革命の道を踏み出した10代から82歳で逝去されるまで革命活動に生涯を捧げました。

1926年10月17日、主席は自ら育てた中核青年で朝鮮で初めての共産主義革命組織である打倒帝国主義同盟（「トゥ・ドウ」）を結成しました。会議の参加者の一致した意思によって主席は同盟の責任者に選出されました。

1930年6月、主席は卡倫会議を召集し、朝鮮革命の自主的な進路を明らかにしました。会議で主席は朝鮮革命を成功裏に遂行するためには抗日武装闘争を組織展開し、広範な反日愛国勢力を結集させ、党創立の準備を進めなければならないと教えました。

会議で示された抗日武装闘争を展開するための準備活動を踏まえて主席は1932年4月25日、朝鮮で最初の革命的武力である反日人民遊撃隊（朝鮮人民革命軍）を創建しました。

1930年代の後半期、共産主義の中核が準備され、朝鮮人民革命軍が鉄の隊伍として拡大されると主席は朝鮮革命を発展させるための遊撃根拠地である白頭山根拠地を創設しました。1945年8月9日、主席はソ連の対日戦争の宣布と同時に朝鮮人民革命軍のすべての指揮官と隊員に祖国解放のための最後の決戦に進入するよう戦闘命令を下しました。ソ連軍が関東軍を撃滅したことは朝鮮を日本の植民地支配から解放できる有利な条件を作りました。朝鮮の北部地域で日本侵略者を粛清する活動は主席が率いる朝鮮人民革命軍部隊によって行われました。

抗日革命闘争の輝かしい勝利は、朝鮮民族の自主権を回復させて国の独立をもたらし、

人民に明るい生活への道を開いてくれました。

米軍の南朝鮮占領によってかもし出された国内の情勢と革命の要求を明哲に洞察した主席は、解放された朝鮮に民主主義自主独立国家を建設し、さしあたっては建党、建国、建軍の3大課題を遂行しなければならないと示しました。1945年8月20日、軍事・政治幹部に行った演説で主席は「なによりもまず、朝鮮革命をゆるぎなく勝利へと導くマルクス・レーニン主義党を創立しなければなりません」と述べています。

主席の精力的な活動によって1945年10月10日、革命の参謀部である朝鮮労働党が創立されました。

党を創立した主席は1945年10月14日、平壤公設運動場に集まってきた40万の平壤市民と対面し、新しい民主朝鮮を建設するために団結することを呼びかけました。主席は人民の高揚した熱意と政治意識をさらに高めて、労働者階級と農民、各階層のすべての勤労者の大衆組織を作りました。

主席のたゆまぬ活動の結果、1946年2月8日、北朝鮮民主主義政党、大衆団体、行政局、人民委員会代表協議会で臨時中央主権機関である北朝鮮臨時人民委員会が樹立しました。

主席は委員会の委員長に選出されました。

主席の指導のもとに臨時人民委員会は土地改革と各種の民主的改革を実施し、産業国有化法令を採択して労働者と農民を工場と土地の主人にしました。国の経済が力強く発展し始めました。

こうした成果を踏まえて、主席は1946年11月3日、朝鮮人民の歴史上初めての民主選挙を実施しました。北朝鮮人民会議第1回会議で金日成主席を首班とする最高執行機関である北朝鮮人民委員会が樹立しました。これは朝鮮の歴史において最初になる人民民主主義独裁政権でした。

1948年、アメリカにそそのかされて南朝鮮で行われた単独選挙によって民族分裂の危険が急増していた情勢下で主席は、その危機を打開するために全朝鮮を代表する中央政府を樹立するための闘争を賢明に指導しました。こうして同年の8月、北南朝鮮で総選挙がおこなわれ、1948年9月9日、主席は朝鮮民主主義人民共和国の創建を厳かに宣布しました。

朝鮮人民の一致した意思によって、金日成主席は朝鮮民主主義人民共和国内閣首相の職責に推戴されました。

自主独立国家を建設するためには、国家の安全保障の問題を解決しなければなりませんでした。

朝鮮民主主義人民共和国は抗日革命闘争の伝統を継承したチュチェ型の革命的武力をもたなければなりませんでした。この課題は主席の指導のもとに成功裏に遂行されま

した。

1948年2月8日は朝鮮人民にとって重要な歴史的日でした。同日、朝鮮人民革命軍を正規的な武装力に強化発展させた朝鮮人民軍の創建が厳かに宣布されました。

祖国解放（1945年8月15日）後、北朝鮮では反帝反封建民主主義革命の課題が短期間（1945－1948）に成功裏に遂行されて搾取の社会的・経済的基盤が一掃され、社会主義への移行の始原が開かれました。

共和国の創建によって朝鮮人民は革命と建設の強力な武器をもつようになりました。しかしこれは朝鮮人民の敵には気に入らないことでした。

米軍政の差し金のもとに朝鮮半島の38度線以南には李承晩頭とする傀儡政府がつくられました。

国の北半部における社会主義建設を阻止させ、南半部における民族解放闘争を圧殺するためにアメリカ帝国主義と南朝鮮の李承晩傀儡一味は1950年6月25日、朝鮮民主主義人民共和国にたいする武力侵攻を敢行しました。アメリカ帝国主義とその手先に反対する朝鮮人民の祖国解放戦争が始まりました。

朝鮮人民にとってこれは厳しい試練でした。創建されて間もない共和国は破滅の危機に瀕しました。朝鮮人民の一致した念願によって主席は軍事委員会委員長、朝鮮人民軍最高司令官に推戴されました。

主席の手中に党と政府、軍隊のすべての権力と前線と後方にたいする指導が集中されました。主席は全人民を戦争勝利へと組織動員しました。

人民軍軍人たちの大衆的英雄主義とたぐいなき勇敢さ、後方の労働者、農民の献身的な努力、鋼鉄の総帥金日成主席の賢明な指導によって朝鮮人民は1950－1953祖国解放戦争で勝利を収めました。アメリカ帝国主義が朝鮮戦線に自国の陸軍の3分の1、空軍の5分の1、太平洋艦隊の大部分と地中海艦隊の一部、15カ国追従国の軍隊と南朝鮮傀儡軍、日本軍国主義の反動派で数百万の武力と多大な最新式武装装備を投入しましたが、朝鮮人民を屈服させることができませんでした。取り返しのつかない軍事、政治的・道徳的惨敗を喫したアメリカ帝国主義は1953年7月27日、朝鮮民主主義人民共和国と停戦協定を締結しました。

戦争後、朝鮮人民は国の人民経済復旧に着手しました。

1953年8月5日、党中央委員会第6回総会が招集されました。

会議で主席は社会主義基礎建設の総体的任務と戦後の建設の基本方向を示し、重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させるという経済建設の基本路線を示しました。

主席の精力的な指導のもとに提示された課題が農業をはじめとした人民経済のすべての部門で成功裏に遂行されました。農業協同化は1958年8月に成功裏に終わりました。

た。朝鮮民主主義人民共和国には勤労人民大衆があらゆるものの主人となり、すべてが勤労大衆に奉仕する朝鮮式社会主義制度が樹立しました。1958年9月朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会は主席に、社会主義制度を樹立する事業で収めた業績による朝鮮民主主義人民共和国労働英雄称号を授与しました。

朝鮮民主主義人民共和国は人民大衆が国家主権と生産手段の主人となり、すべてが人民に奉仕し、人民大衆の団結した力によって発展する真の人民の国であり、チュチェ思想を指導指針にしてすべての問題を解決していく自主的な社会主義国です。

朝鮮民主主義人民共和国の国家的（全人民的）所有は基本が工業であり、協同的所有は農業です。協同的所有は全人民的所有との密接な連関の中で発展する社会主義的所有の一つの形態です。

協同的所有は過渡的性格を帯びる形式として農業の社会主義物質的・技術的土台が引き続き強化され（国家資金の投資を通じて）、農民の思想文化水準が高まるに連れ、次第に全人民的所有に転換されるようになります。

朝鮮民主主義人民共和国には個人所有も存在します。個人所有は国家と社会による社会主義の分配と追加的な恩恵、大きくない自留地經理の生産品からなっています。朝鮮民主主義人民共和国で個人所有は法によって保護され、相続に関する権利として保証されます。

朝鮮民主主義人民共和国では憲法によって8時間労働制が、個別的な生産部分で7時間または6時間の労働制が実施されています。3名の子どもを育てる母親は8時間の労働制の生活費をもらいながら6時間働きます。公民が労働する年齢は16歳からです。労働する年齢になっていない少年の労働は禁止されています。朝鮮民主主義人民共和国の公民の生活費には所得税が適用されません。

公民は言論、出版、集会、結社、デモ、信仰の自由をもちます。

朝鮮民主主義人民共和国のすべての公民は自分の趣味と能力に従って労働の権利、住宅の権利、有給休暇権利、無料教育と無料治療権利、科学活動と文学芸術活動の自由権利を保証されています。革命老兵と革命烈士遺家族、愛国烈士遺家族、人民軍留守家族、戦傷荣誉軍人は国家と社会の特別な保護を受けます。

女性たちは男性たちと同じような社会的地位と権利を持ちます。国家は母親と子どもたちに特惠を提供します。

公民の権利と自由は社会主義社会の発展によって絶えず拡大されます。

国家と朝鮮労働党の次代にたいする関心と配慮を特別に強調したいのです。子どもたちはみんなから愛されています。大都市であろうが小さな農村であろうが子どもたちの個性と才能を創造的に発展させ、彼らの健康を保護し、任意のスポーツ種目も学べるようにすべての条件が整えられています。子どもたちを託児所と幼稚園に預けると、父

母たちは金を出しません。保育員と教養員は専門教育を受けた人たちです。子どもの健康を恒常的に観察します。各地に少年宮殿と少年会館があります。夏に少年団員たちは少年団野営所で休息します。松涛園国際少年団野営所で朝鮮の少年団員たちは朝鮮民主主義人民共和国にたいして友好的な外国の子どもたちとしばしばともに休息しますが、その過程に立派な友好関係が結ばれます。朝鮮民主主義人民共和国で若い世代は高度の愛国主義精神と高尚な道徳気風で教育され、文化水準と教育水準が高い人々として育っています。

事実上、朝鮮民主主義人民共和国の創建当初から行われているアメリカの過酷な経済封鎖と無分別なアメリカ帝国主義の恒常的な謀略策動、核先制打撃脅威にも関わらず、朝鮮民主主義人民共和国は自己の社会主義国家を立派に建設しており、経済を発展させ、国防力を強化しています。

「生まれたばかり」の大きくない朝鮮民主主義人民共和国が祖国解放戦争でアメリカを打ち負かしたことは、新しい朝鮮公民の偉大な精神力、自分の領袖の周りに結束した力と熱烈な愛国心はいかなる近代的な兵器よりも強いということを実証するものでした。

国家は計画的に発展する経済と文化（計画は工業と農業生産、科学技術発展、教育、保健医療、産業および住宅建設など、すべての分野を包括する）を指導、管理します。細部化された計画は生産のすべての要素を具体的に考慮し、経済の絶え間ない成長を保証しています。国防力の強化を条件付ける軍需工業総合体と関連した科学および生産活動に特別な役割が付与されています。これは朝鮮民主主義人民共和国を核先制打撃すると間断なく威嚇しているアメリカと75年間も対決している条件でもっとも重要な意義をもちます。朝鮮の科学者たちの科学研究開発活動、最近の核弾頭（やはり朝鮮の科学者たちが開発）が装着されたアメリカ本土を打撃できるICBMの製作はアメリカの軍事冒険主義の熱気を著しく冷やせ、朝鮮民主主義人民共和国の人民が朝鮮における社会主義の完全勝利のために3大革命つまり思想革命、技術革命、文化革命をくり広げ、より平和に生きて働くようにしました。

朝鮮民主主義人民共和国には複数の政党や大衆団体があります。

政権党は朝鮮労働党です。この党は偉大な金日成主席、金正日総書記の党、チュチェ型の革命的党です。

朝鮮労働党の総書記は現在金日成・金正日主義偉業の継承者である金正恩同志です。

朝鮮労働党は社会主義、共産主義偉業の勝利のためにたたかう労働者、農民、勤労インテリで構成されています。朝鮮労働党は英雄的抗日革命闘争期に築かれた輝かしい革命伝統を継承しました。朝鮮労働党のもっとも重要な任務は人民生活を絶えず向上させ、祖国の威力を強化し、朝鮮民族を統一することです。

朝鮮労働党は朝鮮民主主義人民共和国で革命闘争と社会主義建設を組織、指導し、全朝鮮人民の運命に全的な責任をもつ政治的参謀部です。

朝鮮職業総同盟は労働者階級と職業同盟員を党と領袖に限りなく忠実な金日成・金正日主義者に育て、チュチェの革命偉業の遂行へと組織動員する強力な大衆政治組織です。基本任務は労働者階級と職業同盟員を教育改造して党の周りにしっかり結束させ、彼らを革命闘争と建設事業へと力強く組織動員することです。

社会主義愛国青年同盟は1946年1月17日に組織された青年たちの大衆的な政治組織です。革命のバトンを受け継ぐべき戦闘的な青年組織である社会主義愛国青年同盟は、朝鮮労働党の頼もしい後続部隊であり、援助者です。同盟員数は500万名程度です。

朝鮮民主主義人民共和国はさる75年間、アメリカと追随諸国の敵視政策に立ち向かって自己の独立と自主を守るための非常に困難で栄光に満ちた道を歩んできました。今日、朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義全般の体系的な危機が日増しに深化されており、アメリカの経済が衰退されている状況下で現在国の頼もしい国防力を保障できる唯一に現実的な要因である核兵器を保有している発展した工業国家です。

社会主義朝鮮では自己の民族文化財と歴史を尊重する態度がもっとも支配的です。博物館と展示場が多いです。

朝鮮民主主義人民共和国には次代が自国の解放を成し遂げ、新たな社会政治制度である社会主義を樹立するための困難な闘争について知らせる現代の立派な記念碑が創造されています。

朝鮮民主主義人民共和国指導部が特別な関心を払っている重大な政治的課題は北と南の統一、朝鮮民族の統一です。

朝鮮人民は社会主義建設で金日成主席が創始した偉大なチュチェ思想を変わらない指針としています。チュチェ思想はまさに朝鮮人民の運命開拓で起こった根本的な転変の基礎をなしています。その後、金正日総書記はチュチェ思想をさらに発展させましたが、総書記の著作にその内容が反映されています。

主席が教えているように、チュチェ思想は人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するという哲学的原理に根ざしています。チュチェ思想は人間を本位にして哲学の根本問題を考察しました。

人間があらゆるものの主人であるというのは、人間が世界と自己の運命の主人であることを意味し、人間がすべてを決定するというのは人間が世界を改造し、自己の運命を切り開く上で決定的な役割を果たすことを意味します。

チュチェ思想は進歩的勢力の大きな関心を引き起こし、世界の多くの国々から理解を得、広く波及されました。

社会主義朝鮮は幅広い国際政治的連携をもっており、世界の大多数の国々に外交代表

部を設けています。特に、最近、朝鮮民主主義人民共和国の国際的権威が高くなっているが、それは朝鮮民主主義人民共和国の自主的な政治路線と対外政策が比類なく透徹しているからです。朝鮮民主主義人民共和国は多くの国際および世界機構の構成国となっています。チュチェ思想国際研究所（本部は東京）はラテンアメリカとアジア、ヨーロッパとアフリカに地域研究所を設けています。

チュチェ思想国際研究所は金日成主席の著作を普及する活動と国際学術セミナー、講演会、チュチェ思想セミナーの手配、研究所の機関紙「チュチェ思想研究」の発行、諸国におけるチュチェ思想研究活動の経験交換の手配、チュチェ思想普及のための図書館、閲覧室の設立、図書展示会の主催などを行います。

現在、100 余カ国でさまざまなチュチェ思想研究グループと組織が活動しています。ベラルーシでもチュチェ思想研究協会が活動しています。

金日成主席の誕生 80 周年に当る日、平壤では平壤宣言「社会主義偉業を擁護し、前進させよう」が発表されましたが、今日、300 余の政党と運動がこの宣言に署名しています。社会主義が人類の理想であるという思想を確認させ、世界の進歩的な党が団結して社会主義運動の再生と新たな高揚のためにたたかうことを呼びかけた平壤宣言は、世界の社会主義運動を強力に推進し、新たに発展させました。

1980 年代末—1990 年代初にソ連と一部のヨーロッパおよびアジア諸国で執権していた共産党がマルクス・レーニン主義の立場から後退した結果、社会主義が一時的に崩壊し、世界の社会主義体制が破壊されました。世界帝国主義は好機にめぐり合ったかのようにこれを自分らの侵略的目的に利用しました。

しかし、地球上には金日成主席が創建して指導した朝鮮民主主義人民共和国という世界社会主義の第一線が引き続き存在しており、成功裏に前進しています。主席が創始したチュチェ思想は政権党である朝鮮労働党の思想的基礎を強固にし、結局、朝鮮民主主義人民共和国は社会主義制度を頼もしく守ることができました。

金日成主席が導いた朝鮮の輝かしい社会主義建設の歴史は金正日総書記によって継承されました。

今日、社会主義朝鮮の方向舵は人民の指導者である金正恩総書記が動かしています。

最近の出来事はアメリカが渴望する朝鮮民主主義人民共和国の政治路線の変化は望めないものであることを示しました。

朝鮮民主主義人民共和国は金正恩総書記の指導のもとに金日成主席が創始し、金正日総書記が成功裏に具現してきた社会主義建設路線を確固と堅持しており、金正恩総書記によって豊かな社会主義強国建設は加速化されています。